

茨城県つくば市における野外広告看板の地理学的考察

Geographical Consideration of outdoor advertisement signboard in Tsukuba City, Ibaraki Prefecture

地誌学分野 鈴木 富之(Tomiyuki Suzuki)

(1) 研究目的・調査対象地域

本研究は、茨城県つくば市つくば駅周辺部における屋外広告看板の空間的な特徴を明らかにすることである。調査範囲はつくば市から半径500km以内と西大通り・土浦学園線・東大通りの一部である。

(2) 研究方法

屋外広告看板の形態ごとの分布を示し、土地利用との関係を明らかにする。次に、業務内容ごとの屋外広告看板と実際の施設の分布を示し、それぞれの空間的な特徴を明らかにする。さらに、色彩ごとの屋外広告看板の分布を示す。それらを総合して考察を行う。

(4) 考察

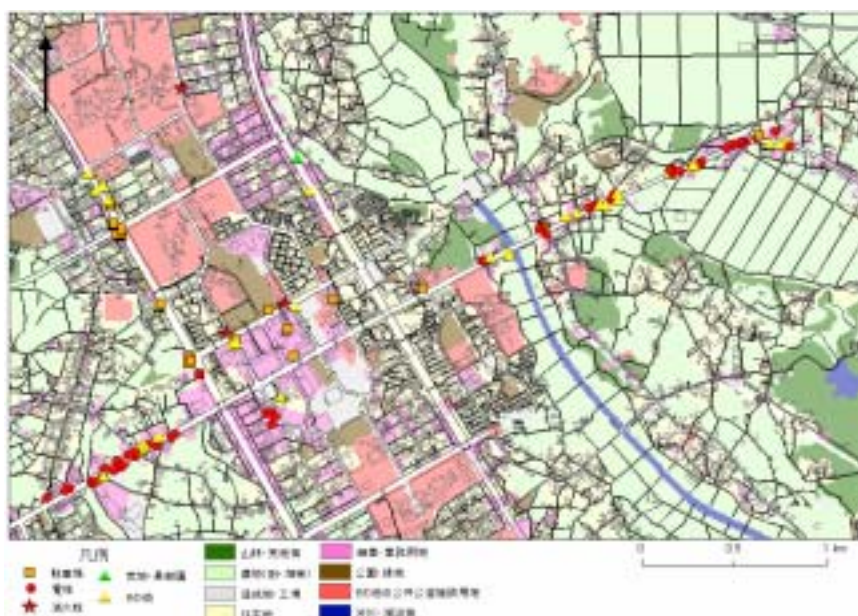
つくば駅周辺市街地の屋外広告看板は、建造物の多さや公共公益施設用地、電柱の地中

化から屋外広告看板がほとんどみられない。

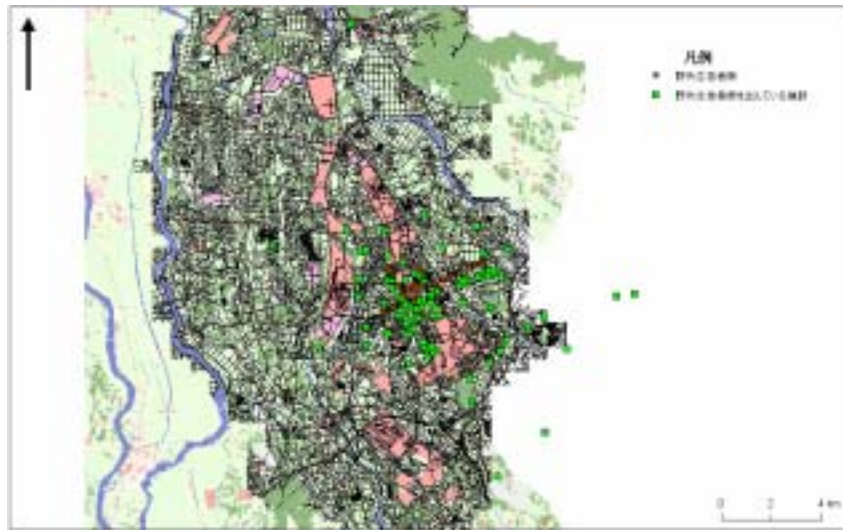
一方、西大通り以西の土浦学園線では、電柱に付随した屋外広告看板や交差点付近の大きな屋外広告看板が見られた。また、東大通り以東の電柱に付随する屋外広告看板が多く、民家などに立地する大きな看板も目立つ。

屋外広告看板が市街地に立地し、実際の施設が郊外に立地しているものとしては、スーパーマーケットと住宅展示場が挙げられる。

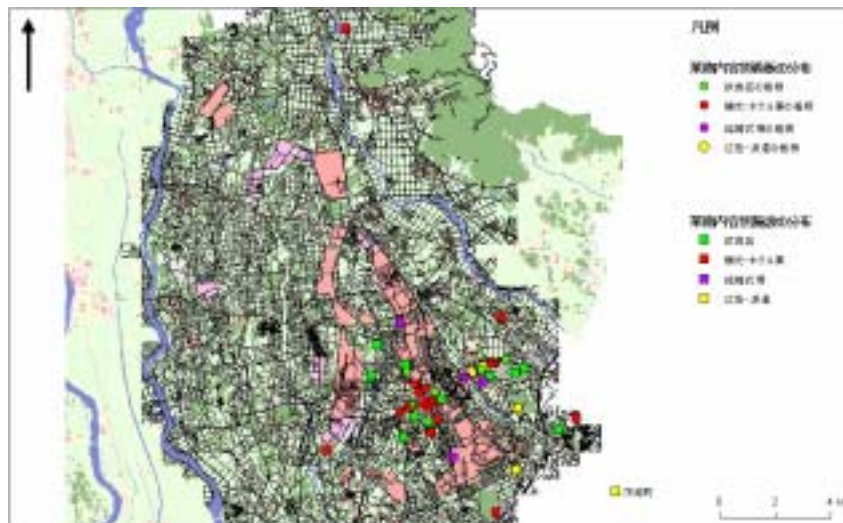
屋外広告看板と実際の施設がともに郊外に立地しているものとしては、専門店（買回り品など）や飲食店、広告・派遣、総合病院、動物病院が挙げられる。屋外広告看板と実際の施設がともに市街地と郊外の両方に行っているものとしては、結婚式やコンビニ、不動産、専門病院、観光・ホテル業が挙げられる。



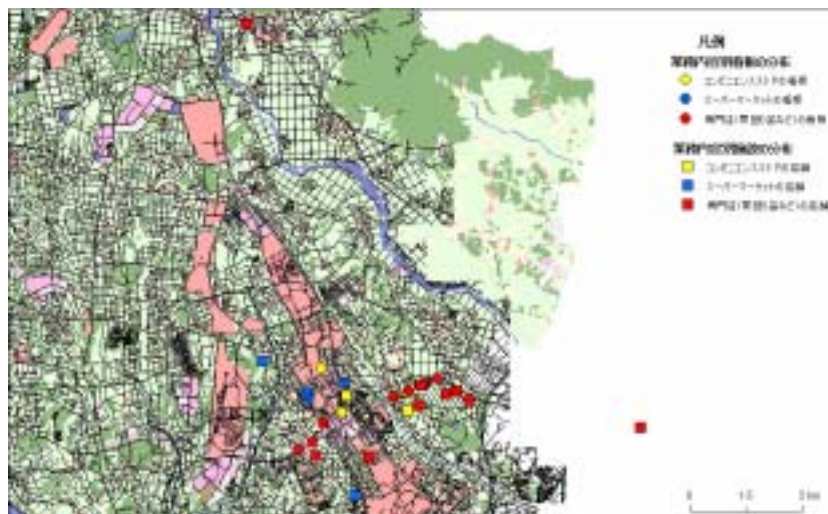
第1図 野外広告看板の形態と土地利用



第2図 屋外広告看板の分布と実際の施設の位置



第3図 商業における屋外広告看板の分布や実際の施設の位置



第4図 サービス産業における屋外広告看板の分布や実際の施設の位置